

(3) 国土交通省及び都内自治体の取組状況

2. 都内自治体の取組状況（※一部自治体のみ記載）

■ 世田谷区

※世田谷区HPより引用

《各種政策・計画でGIを推進》

- みどりの基本計画（自然環境、防災、遊びの場、健康増進等）
- 豪雨対策行動計画（流域対策強化の方策としてGIを推進・促進）
- 環境基本計画（防災・減災の分野で特にGIを多く取り上げ）

《多様な方法で普及・啓発に取り組む》

- 公式YouTubeによる動画配信（事例紹介、制度紹介等）
- GI学校の開催（雨庭づくりの演習）
- GIライブラリーの作成（区内の事例紹介）
- せたがやGIガイドラインの作成（効果の見える化、事例、助成制度）



豪雨対策効果の見える化



整備事例紹介
(シモキタ雨庭広場)

■ 千代田区

※千代田区HPより引用

ヒートアイランド対策助成の中で、レインガーデンを助成対象に。

レインガーデンの基準

周囲から雨水を集水する構造（雨樋の接続等）を有し、碎石層（深さ30cm以上。ただし、個人が所有する住宅は深さ10cm以上。）または雨水貯留浸透施設（雨水を一時的に貯留し、地下に浸透させる機能を有する施設をいう。）の整備により高い貯留浸透能力を持つ緑地（千代田区緑化推進要綱の「地上部の緑地」を満たすもの）であること。

■ 墨田区

※墨田区HPより引用

《各種政策・計画でGIを推進》

- 第二次すみだ環境の共創プラン（雨水利活用の方策として推進）
- 第二次緑の基本計画（多様な機能による地域課題解決や魅力ある都市づくりを進めるために活用を促進する考え方を示す）

《雨水対策にいち早く取り組む》

- 雨水タンク設置助成制度
- 条例・要綱等に基づく雨水貯留・利用の指導
- 公共施設での雨水利用施設の導入
- 雨水ネットワーク会議の設立



路地尊



国技館に雨水利用施設導入



雨水ネットワーク
全国大会2024開催

■ 豊島区

※豊島区HPより引用

立教通りの整備にあたり、豊富な緑と歴史的建造物が調和する「景観性」と、道路が環境負荷を低減する「環境性」を取り入れた「環境モデル路線」としてGIを取り入れた整備を推進。



<雨水を活用した環境装置>

